



市政を問う!

一般質問

12月定例会一般質問通告一覧表

個人質問														代表質問																								
2	1	2	1	2	1	1	3	2	1	1	2	1	3	2	1	2	1	2	1																			
子どもを育てる保護者支援について	のりと小郡について	まちづくり協議会について	不登校の「出席扱い制度」について	鳥獣被害対策について	ICT教育の推進について	宝城中校区の課題解決に向けた取り組みについて	地域公共交通の在り方について	ジェンダー平等社会の実現にむけての性の多様性について	子育て世帯の負担軽減について	治水対策と田んぼダムの取り組みについて	少年の非行対策について	今後の本市の財政状況の推移(予測)について	おごおり七塔プロジェクトについて	のぞみが丘校区コミュニティセンターについて	「のりと小郡」の交通弱者の利用について	三国幼稚園跡地利用について	生徒・児童の安全な通学道路確保について	大規模集客施設(コスト)オープンに伴う交通・治水対策について	三井消防署の現地建て替えの経緯について問う	インター周辺のまちづくり構想の具体的施策を再度問う	観光駐車場の取り組みについて	まちづくり協議会の課題解決について	西部地区開発に伴う水と道路の問題について	小郡市まちづくりガイドラインにある課題解決に向けての動きについて	ゼロカーボンシティ宣言の取組について	家庭ごみ収集支援について	子宮頸がんワクチンの接種について	小郡市男女共同参画計画の取組みについて	小郡市における不登校の児童生徒への支援の充実について	行政による議員の調査や資料請求等へのルール化について	売却予定の市有地について							
大場美紀	佐藤源	田中雅光	山田忠	小坪輝美	小野壽義	立山稔	深川博英	橋間順平	内山伸博	高木良郎	黒岩重彦	新原善信	甲斐田典彦	川野悦子	後藤理恵	みらいの会代表																						

一般質問の記事については、議場での発言に基づき、質問者（議員本人）が要約して編集したものです。  
 会議録については、令和6年3月上旬頃より議会ホームページのほか、議会事務局、各コミュニティセンター、図書館で  
 ご覧いただけます。



みらいの会  
後藤 理恵



**議員** 住民の声に応え、コミセンの建設は

**部長** 地元の皆さん方で作った検討委員会から最終的な総括としてそのようなご意

見をもらっているもので、市としては、売却用地のうち校区コミュニティセンターをつくることになった時の用地は、残しましよと回答している。

局等の公共的な施設を将来的に集中させて配置をしたという計画であったが、整備するまでにそれが決まっていたわけではない。

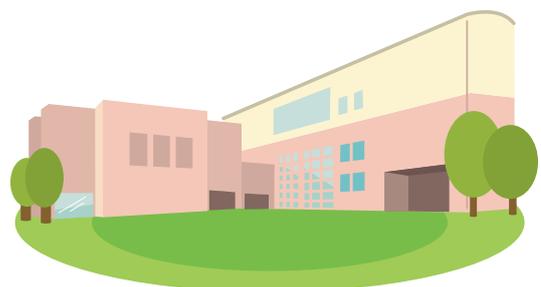
ある。公共施設等整備基金の残高の1億3387万円を財源に行政ゾーンに校区コミュニティセンターを建てる場合は問題がないか。

昭和60年からの三沢土地区画整理事業の中でなぜ行政ゾーンだけがまだ整備されないのか。

**部長** 計画時点ではそこに市役所の支所、図書館、郵便

**部長** 4社からの合計の負担金額は45億2000万円で

**部長** 財源については目的を持った財源ですので、そのような公共施設に充当することについては制度的には問題はない。



みんなが集えるコミュニティセンター



れいわ政策研究会  
川野 悦子



**議員** 校内教育支援センターの導入を

**教員** 各学校への設置実現に向け、授業計画の具体化、運営体制の整備を進める必

要がある。積極的に導入の準備を進めるべきと考える。学校での不登校児童生徒の支援の状況は。

**教員** 保健室あるいは特別教室を使った別室にて個別対応をしたり、オンラインで学習支援を行っている。

不登校児童の通知表での評価の仕方は。

**教員** 通常の形態で出すことは非常に困難。伝え方や内容については保護者の皆さんや当事者の気持ちを大切にしながら考えていく。

**議員** アンコンシヤス・バイアス啓発を

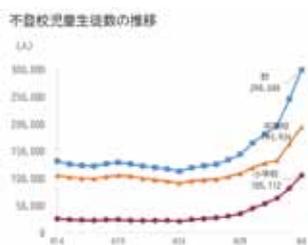
**市長** 性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方である固定的性別役割分担意識が根強く残る世代が見られ、継続的な意識啓発の取

組みが必要。これまでのアンコンシヤス・バイアスの解消に向けた取り組みは。

**部長** 広報でシエンダークオリティに掲載、また学習会では講演を行った。

アンコンシヤス・バイアスについてのアンケートを取り入れられないか。

**部長** アンケートを工夫してどのような潜在意識があるのか調査したい。



令和4年度 小・中学校における不登校の状況について(文科省)  
([https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt\\_jidou01-100002753\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf))を一部加工して作成



公明党  
甲斐田典彦



**議員** 子宮頸がん撲滅に  
向けた取組は

**市長** 去年4月からキャッチ  
アップ接種対象の女性全員  
に、今年4月に9価HPV

ワクチン接種無償化の通知  
を対象者全員に行った。

キャッチアップ接種対象の  
人数と接種率は。

**部長** 令和5年度（4月～9  
月）は対象者2687人。  
初回接種の率は4.4%。

令和6年度最終期限の  
キャッチアップ対象者の無  
料接種の通知は。男性への  
ワクチン接種助成の考えは。

**部長** 令和6年度の早い段階  
から、遅くとも9月までに

は2回の通知勧奨ができる  
ように取り組む。

男性への接種助成は現時  
点ではまだ、考えていない。

**議員** 家庭ごみ袋支援を  
尋ねる

**市長** 市民からの要望を検  
討・改善し毎年度作成。今  
年度は不燃物・瓶袋は持ち  
手とマチ付ガゼット及び4

力国語表記の袋に変更する。

不燃物・瓶袋の容量と一杯  
に入れた場合の重さは。

**部長** 重量換算係数を用いた  
計算で容量は35リットル、  
重さは不燃物袋で30.1kg、  
瓶袋で17.5kg。

不燃物・瓶袋の小袋を作成  
できないか。また今年度、  
変更した袋の販売時期は。

**部長** 市民の要望もあり、成  
果、課題等を研究し令和7  
年度導入を検討する。また  
変更袋はリサイクル協力店  
に9月～10月に配達済み。



協議はどうするか。

**部長** 水と道路の問題それぞ  
れについて関係課で基山町  
と十分協議していく。

**議員** 協働のまちづくり  
課題への取組は

**市長** これまでの事業を振り  
返し、将来ビジョンを明ら  
かにし、目的達成のために  
必要な事業の洗い出しを  
行っている。担い手や人材

地元説明はどうするか。

や鳥栖市と協議し流域全体  
で治水に取り組む。  
道路は市道16号線の交通  
量増加が見込まれるため整  
備促進を図り、交通の安全  
良好な住環境を確保する。

**部長** 市が地元で開発計画の  
説明をした後、事業者が工  
事の説明を行うようにする。

基山町との開発についての

同じことの繰り返し、どう  
解消するか。

**課長** 若者、女性など多様な  
意見を取り入れている事例  
がある。

参加の動機付けには出会い  
の面白さが大事ではないか。

**課長** 事業の企画や活動の中  
で人材を発掘、育成する意  
識が重要だ。

新原 善信



**議員** 西部地区開発で  
水と道路の問題は

**市長** 雨水対策は、調整池を  
整備し下流域への浸水被害  
軽減を図る。また、基山町



開発が進む16号沿線



みらいの会  
黒岩 重彦

議員  
狭あい道路の整備は

市長 地元からの要望に対して協議や説明を行い、限られた財源の中で有効な対策

を講じ、取り組んでいく。

各行政区からの要望事項の優先順位（ルールづけ）は、

部長 安全面や緊急性、路面の劣化や通学路かどうか重要な指標となる。また、車両の交通量や歩行者・自転車の通行量等が判断基準となる。

みくに野団地内の側溝の蓋かけ整備を加速化すべき。

して使う。

平成30年12月の消防署建設に伴う答弁内容を問う。

部長 財政的に有利な形の建設方法を検討している。

平成30年に緊急防災・減災事業債適用のために市の南別館、その後体育館西側に建て替える計画があったのでは。

部長 みくに野団地内の側溝の総延長は1万6千5百メートルくらいあり、予算の増額も検討しながら要望に応えていきたい。

議員  
公営の観光駐車場整備は

部長 横隈区からの要望書を踏まえ、財政課・都市整備課・商工観光課で協議検討しており、道路工事に伴う現地調査や工事の方法を検

討しており、また用地買収が必要となる地権者の協議を進めている。

県の土地について県管財課と何か話があったのか。

部長 担当者間では情報共有程度は行っている。

駐車場不足や集落内での大型バスの走行などの問題が発生しているが、何か他に対策があるのか。

債の負担がどうなるか。

副市長 久留米消防本部に対して、緊急防災・減災事業債を使うために現地ではなく南別館と体育館西側の場所が好ましいと、小郡市から申し出をしたが、条件が合わず難しかったので、遅れた。

建設が令和9年度までに終わったが、緊急防災・減災事業債は令和8年度、令和9年度は使えないと思うが、財源と緊急防災・減災事業

部長 緊急防災・減災事業債については、令和4年度から令和7年度には活用できる分を使い、残りは一般単独事業債で対応したい。令和8年度、令和9年度は緊急防災・減災事業債を対象とした部分については防災対策事業債を活用し、残り一般単独事業債で行うようにしている。防災対策事業債は、緊急防災・減災事

部長 先ずは、前堤横の市有地の検討を進めていくべきと考えている。



みくに野団地内の未整備側溝

業債より充当率、交付税措置が落ちる起債で対応していきたい。



本当に三井消防署は現地建て替えて良かったのか



みらいの会  
内山 伸博



**議員** コストコ開店後の交通・治水対策は

**市長** 工事は1工区（店舗）、2工区（ガソリンスタンドと駐車場）に分かれ、1工

区は、久留米筑紫野線からの出入、店舗西側の工事は、市道30号線（通学路）から出入し、誘導員を配置し、歩行者の安全を確保する。2工区は、市道10号線から出入する。開発区域の治水対策は、福岡県が定める開発行為等の審査基準に基づき、下流部である石原川への影響を考慮し、調整池を設置し、雨水の河川への流出を抑制する。

コストコオープンに伴う通学路について教育長の考えを問う。

**教員** コストコオープンにより通学路の交通量が増えることに対し、地域の皆さんやPTAと十分協議を行い、具体的な安全対策を取っていく。

**市道30号線（通学路）の整備はコストコオープンに間に合うのか。**

**部長** 通学路の整備は、コストコが完了までにカラー舗装、外側線、防護柵を令和5年度から令和6年度（短期）で整備し、本年度に立石から松崎交差点までの予備設計を行い将来的に道路の線形の見直しや拡幅（中期・長期）を行う。

**調整池の管理は市なのか。**

**部長** 維持管理は、調整池の設置者と小郡市とで維持管

理協定を結び、点検、清掃や修繕など適切な維持管理を行うってもらう。



市道30号線（通学路）



れいわ政策研究会  
橋間 順平



**議員** のるーと交通弱者の利用は

**市長** のるーと小郡は、高齢者、通勤や通学、妊産婦の通院などの公共交通手段の

確保、維持を図っている。運賃は、受益者負担で設定をしているが、運賃の不公平などは運行内容の見直し、幅広い世代が利用できる利便性の高い公共交通手段として、取り組んでいる。

三国校区北部地区の高齢者・障がい者、免許返納者の交通弱者の運賃が割高だ。

**部長** のるーと小郡の料金設定は、乗る距離に応じての

距離別運賃方式を採用し、短距離の移動を推奨し運賃を安く設定した。逆に非効率な運行の長距離の運賃を高め設定している。

介添え、付添員の割引き、コミュニティバスとのるーと小郡との併用があるか。

**部長** 現在実証実験中で、課題を整理し、運行内容の見直しを行う。また、高齢化社会を見据え公共交通手段

については、地域の実情を検討して、1番よりよい方法を取り組んでいきたい。利用者の公平性を考慮した運賃、運行方法の再検討が必要だ。

**部長** 地域実情やニーズに合った公共交通の運行の検討を行い。また、受益者負担の公平性も当然考慮する必要がある。2か月間の実証実験の意見や課題の整理

を行い、高齢化社会を見据えて、利便性の高い公共交通手段を確保していきたい。



市民に支持されるのるーと小郡へ



みらいの会  
深川 博英



**議員** のぞみコミセン  
移設要望の認識は

**市長** 市民の同意は得られない。計画を策定する環境が整ったなら、地域と協議する。

学社融合は続けていくのか。

**市長** 変える議論を住民の中でしてない。一部の人が施設を建てたいと聞いているが地域まちづくり計画も将来像も出てない。

検討委員会の開催は。

**副市長** 住民ニーズにより建設するのが望ましいが、計画がない中で協議する時期ではない。

地元から検討委員会開催を求められているが。

**副市長** 今そのような時期でない。時期がきたら検討委員会を開かせてもらう。

**議員** セタプロジェクトの成果は

**市長** イメージ、商品、イベントの3つの戦略に取り組んできた。おごおりファンを獲得に努めてきた。

令和5年度でプロジェクトは終了するが今後は。

**市長** これからもセタの里おごおりのPRを継続し、市の活性化につなげていく。

今後補助金の交付は。

**部長** 3つの戦略については、今後事業展開していく。新たな取組等あれば、セタプロジェクト会議の中で決定していき、審議していく

ことになる。



叶え星文様の久留米絨クッション



れいわ政策研究会  
立山 稔



**議員** 今後の財政状況は

**市長** 老朽化した体育館、学校給食センター、三井消防署については早急に整備が

必要であり、財政調整基金が今後の行政需要に備えるための残高確保ができていない。地方債の毎年の償還金となる公債費が下がり続けているなど、財政状況の改善があり、公共施設の更新、または必要な施設整備事業に取り組み上での土台と考えている。

新体育館建設に関して、財源内訳について問う。

**部長** 全体事業費を40億円と見込んだ場合、国庫補助金7億円、市債はいくつかの起債で総額約26億9千万円を見込みそのうち地方交付税として11億7千万円戻ってくる。一般財源としては令和5年度から10年度にかけての6年間で6億1千万円を見込んでいる。

給食センターの建て替えについて問う。

**部長** 建設に係る経費を約17億4千万円と見込んでいる。このうち国の交付金と起債を除いた建設に係る一般財源は約4億6千万円を見込んでいる。PFI事業の15年間の期間で割賦払いになるので、1年間の建設に係る経費は約3千百万円となり、平準化のメリットがある。

今後、自主財源は増えると考えられるか。

**副市長** 本市の固定資産の標準価格の伸びと、企業誘致等で自主財源が増えると思う。





おごおり創志会  
小野 壽義



議員  
治水対策と田んぼ  
ダムの取組みは

市長 河川の治水対策に加え  
流域治水の取組みで、被害  
軽減が図られている。田ん

ぼダムは来年度の試行結果  
を踏まえ、広域的な取組み  
を推進する。

どのような排水板で田んぼダ  
ムに取組むか。

部長 様々な形があるが、加  
工が簡単なV字カットの堰  
板で実施する。

田んぼダムに可能な面積と  
貯水量は。

つていくか、動向を見なが  
ら見極めている。

令和6年度から改定され  
る学校給食費は。

部長 小学校が月額4800  
円(600円アップ)、中学  
校が月額5700円(80  
0円アップ)である。

学校給食費無償化につい  
て市の見解は。

市長 経済的な不安が子育て  
環境に影響を及ぼさないよ  
うに、どのような支援を行

部長 約13haで取組み、貯留  
量は約1万3000トンで  
ある。小学校のプールに換  
算すると42杯分の貯留量に  
なる。

啓発ポスターをコミュニ  
ティセンターや各公民館、  
小・中学校に掲示できな  
い。

議員 少年非行対策の  
大麻乱用取組みは

市長 薬物乱用を防止するに  
は、危険性、有害性を正し  
く認識させ拒絶する規範意  
識が必要で、小学校・中学  
校で年1回、乱用防止教育

を実施している。

現時点では公共施設に  
は掲示していないが、各団  
体の街頭補導などでチラシ  
の活用をしている。

部長 現時点では公共施設に  
は掲示していないが、各団  
体の街頭補導などでチラシ  
の活用をしている。

大麻乱用防止教育用動画を  
活用しての教育は。

行政サービスの拡充につい  
て問う。

現在市営住宅の入居の  
申込み、要介護の認定申請、  
住基票の記載等「縁故者」  
というところで、行政サービ  
スを提供。今後、利用でき  
るサービスの拡充を図る。

性的少数者の方々の人権を  
守るために条例が必要と思  
うが市の見解は。

議員 性の多様性につい  
ての認知度は  
部長 理解が必ずしも十分で  
はない。理解の増進が必要  
である。

パートナーシップ宣誓制度  
により受けることができる

教養 この効果的な指導方法、  
ICTを活用した心に残る  
学習に取組む。



田んぼダム (排水マスに設置されたセキ板)

副長 必要が出てきた場合に  
検討課題として捉えていく。





みらいの会  
**山田 忠**



**議員**  
宝城中校区の課題解決の取組は

**市長** 地域の実情を踏まえながら、地域活性化に向けて取組みを行っていく。

小郡鳥栖南インターの開通に合わせて、交通量が増えることが予想されるが、地域住民の安全対策は。

**部長** 必要に応じて交通量調査等も行いながら、しっかりと考えていく。

県道鳥栖朝倉線は御原小学校の通学路でもあるが、子どもたちの安全確保はできているか。

**部長** 車道部分が狭く歩道も南側のみで2メートルと狭い状況は認識している。通学路交通安全プログラム等に基づき、必要な対策について県に要望していく。

宝城団地のみならず、その他集落でも空き家が目に留まるようになってきたが対策はどうか。

**部長** 相談があれば、まず防災安全課で受け、都市計画

課、生活環境課その3課で情報を共有しながら対応している。

味坂小・御原小で小規模校魅力化事業が展開されてきたが、どのような事を子どもたちに育んでもらいたいと考えているのか。

**警長** ICTのよさを活かして、地域と一体となった教育を進めることで、ふるさとを思ふ心や郷土の人との

不登校児童生徒に対するオンライン教室設置を。

**警長** 中学校では、保護者、生徒の希望がある場合はオンラインで授業の画像を流している。

普通教室のテレビは視認性が悪いが、大型モニターの設置は考えているか。

**部長** 42型のデジタルテレビを年次的に大型モニターへ

公明党  
**田中 雅光**



**議員**  
ICT教育の推進状況を問う

**警長** 令和2年9月に小郡市ICT教育推進委員会を立ち上げ、活用の方針



やルールづくり、授業や校務での効果的な活用事例共有の取組を進めた。この推進委員会は、全小・中学校からICT教育推進担当、及び校長会、教頭会代表、及び教育委員会スタッフにより構成している。

学校によって推進状況に差があるが、平準化のためにマニュアル化が必要では。

**教書長** 小郡市全体の規定カリ

ICT支援委員は足りているか。

**市長** 国が配置基準を決めて、統一的な環境を作るよう強く国に要望したいと思う。

取替えていく予定。



味坂小学校の授業を視察



危険な通学路

つながり、自立的に未来社会を生きていく力を期待し、支援していく。



おごおり創志会  
佐藤 源



**議員** まちづくりガイド  
ラインの整理は

**市長** まちづくり協議会、自治会や市民活動団体の位置づけを明確にした。

まちづくり協議会の会員について、まちづくり協議会の規約改正の現状は。

**部長** 会員は構成する自治会や各種団体、趣旨に賛同する有志の方であり、会員が校区住民となっている校区に対して、規約改正を促していく。

まちづくり協議会の構成団体が脱退する決議をしたらどうなるのか。

**副農** 入っている団体が自ら意志を決定したならば、それを尊重するルールをつくるのが望ましいが、市がそれを強制できない。

**議員** ICT指導の出席  
扱いが無い理由

**警農** 自宅でICT等を活用した場合の出席の取り扱いには要件があり、学校としての取組実施に至っていないため。

学校に通いたくても通えない、学校敷地内にも入れない子どもたちへの考え方は。

**警長** 子どもたち一人一人の状況に合った支援を行っていくことが肝要。

オンライン学習での出席認定についての教育委員会の考え方は。

**警長** 文科省もガイドラインを出しており、委員会とし

て出席扱いになるかを考えながら進めなければならぬと考えている。



ターのひとり親支援制度、なぜ使われていないのか。

**部長** 助成のお知らせの記載が分かりにくく、事業の周知がきちんと届いていない。

用者の利便性向上の両立を目指し、幅広い世代の方が使いやすい公共交通を目指す。

**部長** 改善できるものは速やかに実施する。  
意見やクレームの受付は。

**部長** 都市計画課が窓口。

本格運行でシステムや料金など大きく変わると違う課題が出る可能性も。実証実験中でも変更は可能か。

**議員** 保護者が相談しやすい環境とは

**市長** 相談の仕方や場所が分かりやすいこと、サービスが利用しやすいことが重要。

日頃から保護者が子どもと来る場所づくりが必要では。

**部長** 気軽にあすてらすに足を運べるよう、エントランす付近に子ども広場を検討している。

ファミリーサポートセン



のるーと小郡 是非ご利用ください

**議員** のるーと小郡  
導入の目的は

**市長** 利用者が減少したコミュニティバスの代替えとして、運行負担の軽減と利

おごおり創志会  
大場 美紀

